



先日、本社に届きましたお手紙をご報告いたします



突然の手紙失礼します。

私は、貴社の〇〇支部のA先生が指導されているサッカー教室に子供を通わせている父です。A先生と前担当者のB先生、さらに貴社の経営理念に感謝と尊敬の念をお伝えしたく一筆差し上げました。

私の息子がサッカーをするようになったのは、親が勧めたわけでもなく、本人の意思からでした。私はサッカーをしたことがありませんでしたし、本人も、サッカーというものがどんなものなのかよく分かっていなかったのではないかと思います。入会時は、B先生が指導をされていました。

私は、「息子がしたいと言うならまあ良いか。楽しんでくれたら良いな」という程度で入会させ、練習や試合を見に行っても「可愛いな」くらいのものでしたし、息子が自分の得点チャンスのときにだけボールを追いかけ、失点のピンチのときにも自陣に戻ろうとしない姿を見て「小さい子はこんなものかな」と少し落胆した記憶もあります。

ただ、練習や試合を見に行った時に、A先生やB先生が子供に対して、スポーツマンシップ溢れる声かけや指導をされたり、チームワークの大事さや、真剣にスポーツに取り組むことの大事さを教えられてる姿を見て、私自身、先生の指導方針や理念にすごく共感できましたし、私が息子にスポーツを通して学んでほしいと思っていることを伝えてくださっているなと感じていました。そして最近、息子に変化が生まれ始めたように感じています。

幼稚園のころは、一緒にサッカーをしていても、息子は、「それできるよ」、「分かってる分かってる」と言ってこちらの話を聞かず、自分がやりたいときに、やりたいことだけをしている印象でしたが、最近では、「上手になりたい」、「それどうやったらできるの?」と言って、目をキラキラさせながら真剣に話を聞いたり、練習以外のときでも庭でボールを蹴って練習をしています。また、自分が得点を取ることだけを喜んでいた息子が、「チームが勝つために自分が後方にまわる」、「仲間にパスを繋いで点を取る」姿勢も少しずつ見え始めました。

私は、これは両先生の熱い指導のお陰だと思っています。まだ話もろくに通じない小さい子に真剣に指導するのは、とても根気がいることでしょうし、さらに、練習時間の前後にも、子どもにできる限りサッカーの楽しさや技術を教えてくださるなど、大変ご負担をかけていると思います。



また、息子は、貴社の両先生以外からご指導は受けていませんが、試合でお見かけする他の先生も、両先生と変わらない爽やかな先生ばかりであり、先生達の姿は、スポーツマンシップを尊重する貴社の経営理念だろうと感じています。

本来は、名前を告げて手紙を差し上げるべきですが、私が名前を告げることにより、先生に過度にプレッシャーをかけたくありませんし、今後も息子と他の生徒を公平に指導していただきたく、敢えて匿名で手紙を書かせていただきました。

今後も息子がA先生の指導のもとで成長することを楽しみにしています。
末筆ながら、貴社のますますの御発展と関係者皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

